

地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和7年5月27日

成田市教育委員会

本市では、市立の全小中義務教育学校29校が学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしてスタートしてから3年目となります。

それぞれの学校の学校運営協議会では、学校の運営とそのために必要な支援について協議し、学校運営に参画しています。地域と学校が一体となって、未来の創り手となる子どもたちを育てていく体制が整っています。

学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

公津の杜中学校

本年度の学校経営方針の承認と教育活動について協議が行われました。

●本年度の学校経営方針の承認を受けて、教育課程・教育活動について

学校の安全管理、交通安全（自転車の乗り方等）、公共施設（公園等）の使用の仕方等について話題となり、学校と家庭が連携し、家庭の協力を得ることも必要になるという意見が出されました。

●教育活動の支援について（本年度より、学校支援地域本部を設置し、地域コーディネーターが学校運営協議会の委員にもなっております。）

学校の教育活動への支援をしていこうという取組をスタートしていくために、地域ボランティアを募集し、公津の杜中学校区の地域に広くチラシを配布して、周知していくことの提案がありました。チラシの配布について、「地区の回覧を活用して配布できる」と委員同士で話が出ました。まずは、交通安全と環境整備のボランティアを募集するということで、学校の課題である交通安全について、地域の力を借りて支援体制が整うことが期待されます。

“できる人が、できる事を、できる時に”のテーマが掲げられており、今後、子どもたちの学びや成長を支える活動を、学校運営協議会と連携して進めていく体制を整えることとなります。



西中学校

本年度の学校経営方針の承認と教育活動について協議が行われました。

●本年度の学校経営方針の承認を受けて、教育課程・年間行事予定について

本年度の取組について共通理解を図るとともに、学校行事の調整や精選、公共施設（公園等）の使用の仕方、放課後の過ごし方等について話題となり、最終下校時刻に応じて、生徒への指導が必要であるという意見が出されました。

●学校で抱えている問題や課題について

学習面・生徒指導面について、現状の実態と課題について、本年度の取組と合わせて共通理解が行われました。教職員の授業力・力量アップを職員間で高めたり、ミドルリーダーのもと、生徒に寄り添って対応したりできる組織体制についても話題になりました。

“誰一人取り残すことなく、前進し続ける学校”をめざす学校像としており、昨年度の取組の成果をもとに、新たな挑戦に向けて、学校・家庭・地域が双方向で連携できるための体制整備が期待できます。

